

—諸人のここに学びて— 校長室から見える風景(3)

考査前、考査中(だけではないですが)の職員室前

定期考査前、だけではないのですが、特に定期考査前・考査中は、職員室前の廊下では写真のような光景が見られます。窓側には長机が置いてあり自習することができます。職員室の壁側には、ホワイトボードが7枚ほどかけられ、担当教員に質問するとホワイトボードを使って説明してもらえます。



職員室前のようす

教諭の時によく生徒に言っていたことがあります。「『分からないことが分からない』から『分からないことが分かる』ようになるとそれは進歩だよ。」いくら高校生とはいっても、一度聞いてすべて理解できるというわけではありません。日々の授業や家庭学習で、「分からないことが分かる」と、次に「分からないところを分かるようにしよう」となるのは自然なことです。自分一人で理解できることもあるでしょうが、ぜひ「質問する」ということをやってほしいですね。分からないことが分かるのは楽しいものです。学ぶことの楽しさはまずここにあると思います。そして分かったことが、何か他のことにつながったり、新たな疑問が出てきて解決してみようとなるとそれがある意味「探究」なのではないかと思うのです。

そして、実際に質問するってちょっとハードル高いなあと思う人もいるかもしれません。友人に聞くのもですし、担当の先生に、となるさらにとそう思うかもしれません。「質問する力」は、自分の分からないところ、疑問に思うことを相手に伝える力です。自分の考えを整理し相手に伝えることは意外と難しいものです。何度も言いますが、分からないところが分かることは大切なことです。そこにたどり着くまでまず取り組んでください。ひと頑張りしてみるかどうか、違いを生みます。

生徒のみなさんには、ぜひ質問をしてもらいたいと思います。

実は担当教員の勉強にもなるのです。